

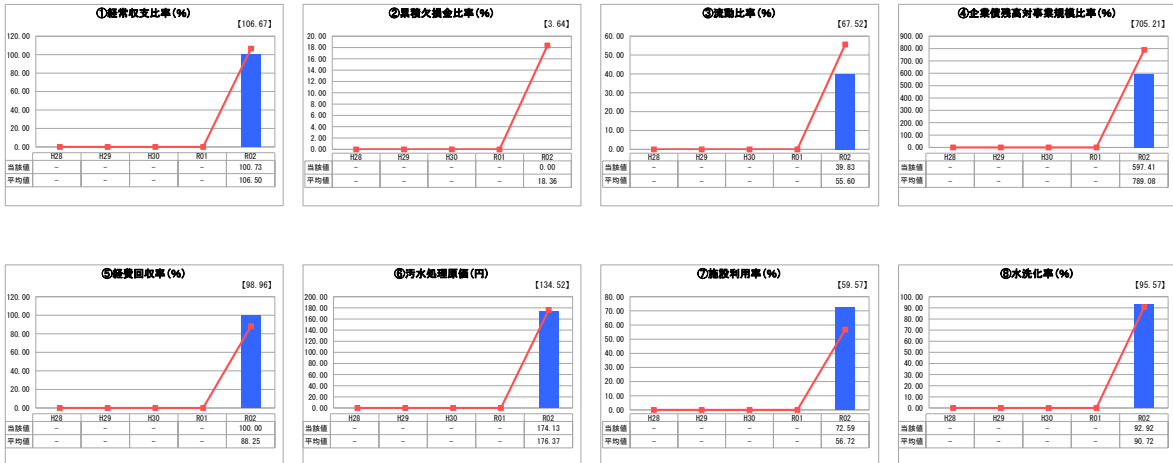
経営比較分析表（令和2年度決算）

表紙県 鶴城市

業種名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報	人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
法適用	下水道事業	公共下水道	Dc1	非設置	51,266	65.76	779.59
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 量たり定額料金(円)	処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
-	63.71	56.76	62.67	3,410	29,008	8.15	3,559.26

グラフ凡例
■ 類似団体値(端数値)
— 類似団体平均値(平均値)
□ 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 經常収支比率は、収支が黒字であることを示す100%以上となっているため、経営は健全であるといえる。しかし、類似団体平均値を下回っているため、計画的な施設修繕等により費用の削減を図っていく必要がある。

② 累積欠損金は発生しておらず、経営は健全であるといえる。

③ 流動比率は100%を下回っており、1年以内の支払能力が低いことを示している。流動負債の多くが建設改良費に係る企業債であり、施設整備により今後使用料収入等現金の増が見込めるが、より支払能力を高めるために接続率向上等に努める必要がある。

④ 企業債務高対事業規模比率は類似団体平均値より低く、概ね効率的で料金水準にあった適正な投資を実施しているといえる。

⑤ 経費回収率は、使用料を回収することを示す100%となっており、経営は健全であるといえる。

⑥ 汚水処理原価は類似団体平均値より低い数値となっているが、今後の数値上昇を抑えるため、維持管理費の削減や有収水量の向上に努める。

⑦ 施設利用率は類似団体平均値を上回っており、適切な施設規模であるといえる。

⑧ 水洗化率は類似団体平均値を上回っており、概ね良好である。引き続き普及促進活動を行い、水洗化率向上に努める。

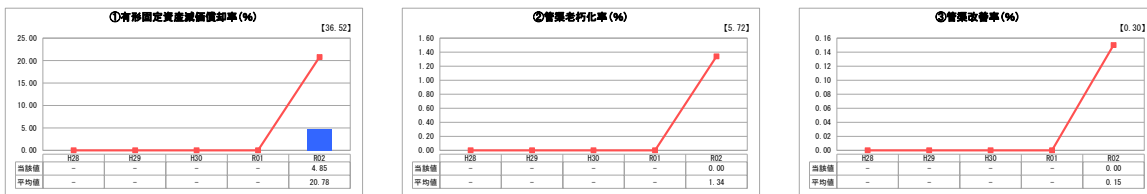
2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体平均値より低く、早急な施設の更新等が必要な状況ではないといえる。今後ストックマネジメント計画に基づき、計画的な更新を図っていく。

② 管渠老朽化率は0であり、法定耐用年数を超えた管渠はない。

③ 管渠改善率は0であり、更新した管渠はない。

2. 老朽化の状況



全体概括

現在の経営状況は概ね健全であるが、類似団体平均値との比較により、改善すべき課題もあるといえる。今後は維持管理・更新コストの増大や人口減少による有収水量の減少など、厳しい条件が増えることが予想されるため、経営戦略やストックマネジメント計画に基づいた施設管理・更新を進めつつ、経営状況や資産状況を正確に把握し、適正な料金設定や施設の維持管理に反映することで、健全な運営を図っていく。

※ 「經常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。